



しののめ

〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL (0263)53-8802

FAX (0263)51-1290

E-mail : sogokyoiku-kikaku@pref.nagano.lg.jp

目次

「今年度の研修講座の様子(教科教育部)」・・・・・・・・・・・・・・・・ p.1

「令和5年度 教職員研修会サポートの報告」・・・・・・・・・・・・・・・・ p.2

今年度の研修講座の様子(教科教育部)

小学校理科 基本 ～ものづくりの活動の充実～

9月29日(金)実施

身の回りの「なぜだろう?」「こうなるかな?」を解決するために、児童の気持ちになって各学年のものづくりをし、作成したものを改良するなどの体験活動を行いました。そこでは、素材のもつ魅力や、児童の主体的な問題解決について語り合いながら、ものづくりを授業に生かす方法を考えました。

(学習指導要領では、『内容の「A物質・エネルギー」の指導に当たっては、第3学年で3種類以上、第4～6学年で各学年2種類以上のものづくりを行うものとする。』と示されています。)

理科の授業を通して感じている悩みや、ものづくりの実践について共有しました。



児童の気持ちになって、ものづくりに取り組んだ一日を振り返り、今後の授業や単元への位置付けを考えました。



各学年のものづくりを体験しました。



3年 ゴムで動くおもちゃ



3年 ダンシングスニーカー



5年 クリップモーター



6年 モビール(てこ)

◆受講者の振り返りから◆

- ・モビールは、バランスを微調整する場面でもとても思考した。思考しすぎて疲れるほどのものづくりに感動した。
- ・子どもに戻ったように、ものづくりの楽しさを実感した。工夫できる場面が多く、学ぶことが多かった。学校に戻っても、できるだけ取り入れていきたい。

◆講座担当者の感想◆

「学習したことを生かす」「目的をもって取り組む」「日常生活における理科の有用性の理解」につなげるものづくりについて、考え合うことができました。

研修講座も残りわずかとなりました。

暖房も入れていますが、講堂・研修室は大変寒くなってきています。

各自で防寒対策をお願いいたします。

令和5年度 教職員研修会サポートの様子

○〔スタート!特別支援教育 基本 I A〕 の受講内容をもとに校内研修を開く中学校の様子



特別支援学級に関する内容の講座であったが、研修会には小・中学校の通常の学級の先生方にも参加していただいた。講座を受講いただいた先生からは、15分解決法について紹介があり、短時間で支援の検討ができるため、支援会議でも活用していきたいという提案がなされた。「クラスの中で気になる子は困っている子かもしれない」と受講者同士で対話をしながら見方を変えてみる演習を行ったり、疑似体験を通して、学びにくさを抱えている児童・生徒の困っている背景を体験したりし、具体的な指導・校内支援体制づくりについても情報提供を行った。



地域の小・中学校の職員が集まって特別支援教育について考える機会をこれまで持ていなかったで、貴重な機会になりました。多くの情報提供があったので、それぞれが感じている課題を共有し合ったり、共通して取り組めそうなことを相談し合う時間を設けたりし、特別支援教育の充実につなげていきたいです。(研修会で中心となって進めた先生の感想より)

○〔スタート!特別支援教育 基本 I B〕 の受講内容をもとに校内研修を開く小学校の様子

特別支援学級の教育課程や学級の運営方法、授業づくり、児童生徒理解と支援など、基本的な事項について知り、個々の児童生徒のニーズに合った支援、教材づくり、単元・授業づくりについて考える講座内容の伝達講習を特別支援の学年会へ行った。受講された先生から試してみたい支援検討の方法として「15分解決法」の紹介があった。初めて特別支援学級の担任をするメンバーもいる本学年会で、悩みを語り合いながら、基本的な事項を確認した。また、自校の課題「評価」について、「原学級担任との連携」について情報交換し、個別の指導計画 B 表の内容や評価を原学級担任と共有するイメージを持った。

「15分解決法」では、実際に職員が課題と感じていることについて、何をどの程度、どんなふうに行っていけばいいかなど、言葉や文字だけでは分からないことを、職員間で共有することができました。研修に関することだけでなく、現場での悩みや質問に答えていただき有難かったです。(研修会で中心となって進めた先生の感想より)



今年度、総合教育センターでは、多くの研修講座において「校内研修につなげるために」をキーワードに講座運営をしてきております。今年度のうちに、今後当センターの研修講座をもとに校内研修を計画するような機会があれば、是非「教職員研修会サポート」をご活用ください。詳細は、「研修講座案内」の P84・85 をご覧ください。